

品質で選べば ——
朝日シリーズ



朝日防風柵 朝日防風防雪柵



防風・防雪

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

<https://www.asahi-fence.co.jp>



施工例紹介

防風柵



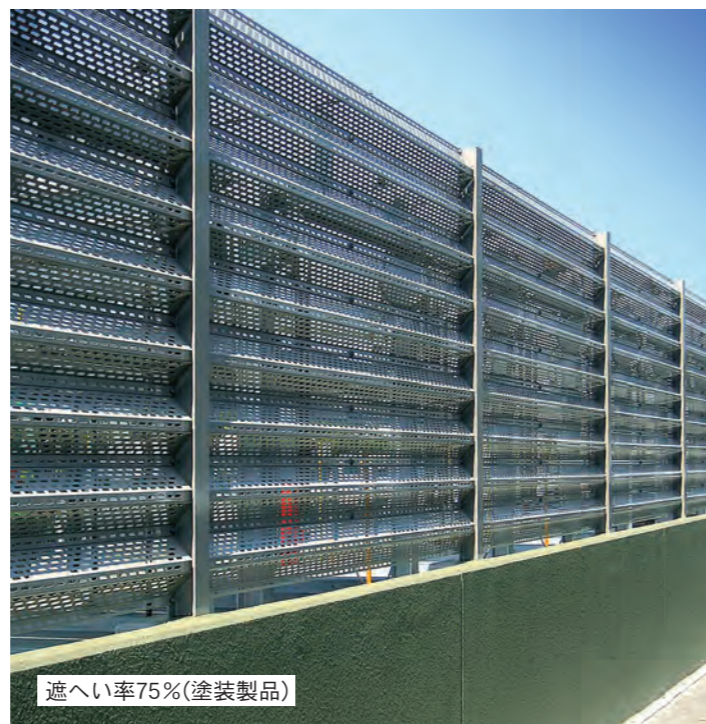
遮へい率75%(高耐食性めっき製品)



遮へい率60%(溶融亜鉛めっき製品)



遮へい率60%(溶融亜鉛めっき製品)



遮へい率75%(塗装製品)



遮へい率60%用 片開き門扉(特殊設計品)



無孔折板(特殊設計品)(高耐食性めっき製品)

※建築内外装でのご使用をお考えの場合は、カタログ『有孔折板』を参照ください。

防風・防雪

防風・防雪



防風柵

朝日防風柵は、有孔折板により、防風機能を目的としたフェンスです。

機能性に富む有孔折板

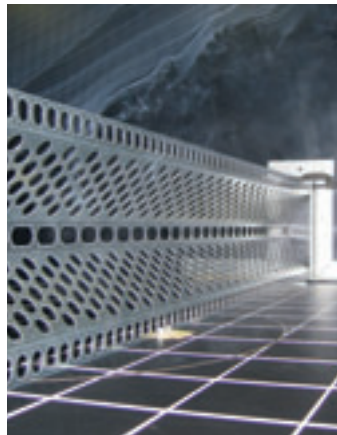
遮へい率60%と75%の2種類を採用。
パンチングホールの透視性により、圧迫感・閉鎖感を抑えることができます。

耐候性にすぐれるパネル

パネルは耐食性にすぐれた「高耐食性めっき鋼板」**ZAM**、**SuperDyma** と、
溶融亜鉛めっき HDZT56 (HDZ40相当) の3種類を採用。

※「ZAM」、「SuperDyma」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。
※「高耐食性めっき鋼板」は、日本産業規格JIS G3323(溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯)に準拠する材料です。

遮へい率試験



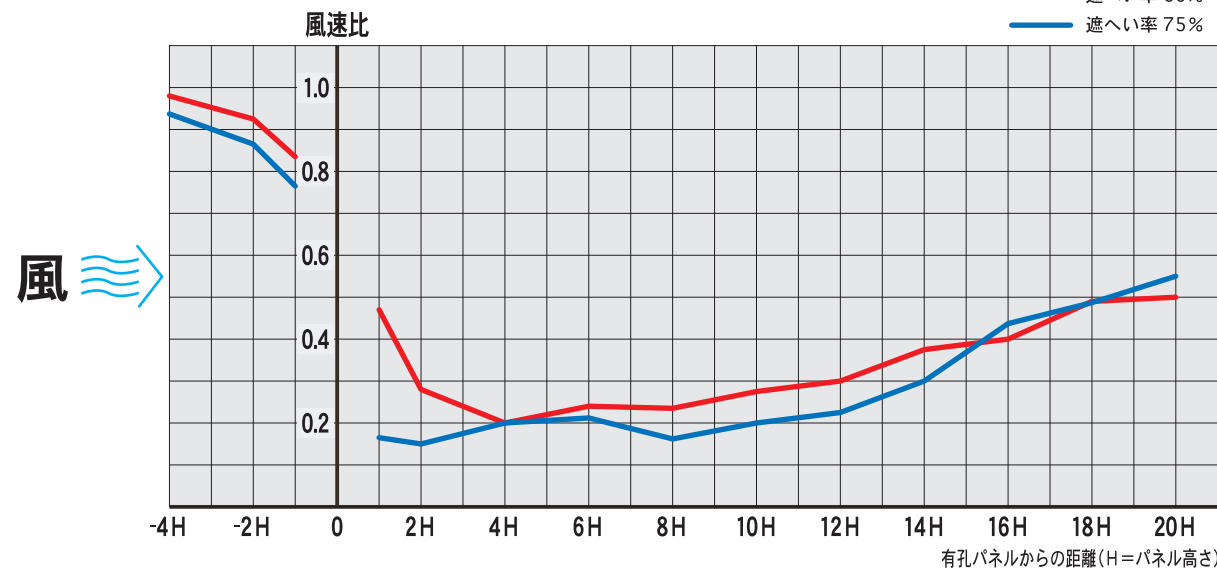
実験風景(可視化試験)

風速比分布

風洞実験により、パネル半分の高さにおける、パネル設置位置からの距離ごとの風速比の変化を測定。

グラフによると、有孔パネル設置位置から広範囲にわたって風速比0.5以下に抑えられており、減風効果にすぐれていることがわかります。

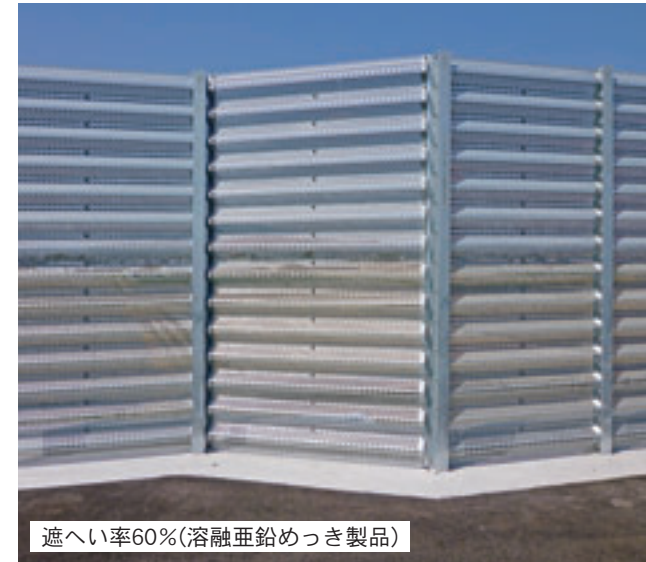
測定高さ0.5Hでの風速比分布 (財)日本建築総合試験所にて実施



記載の値は、実験時における値であり、実際の使用での効果を保証する値ではありません。使用場所周辺の状況により、減風効果は変化することをご了承ください。

塗装製品も製作できます。お問い合わせください。

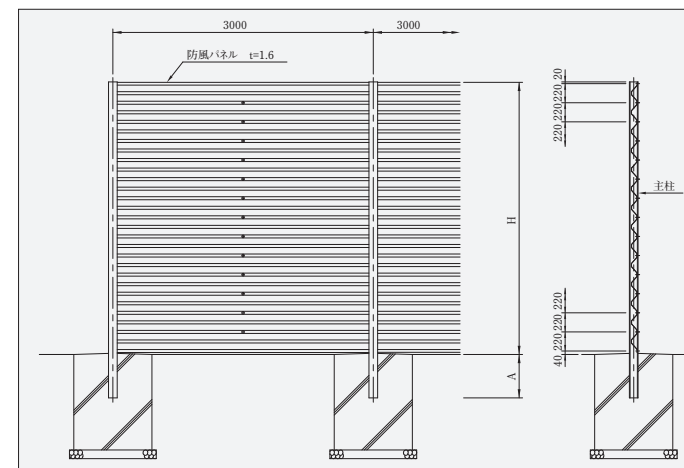
HP型(有孔折板タイプ) 標準仕様 主柱間隔 3.0m



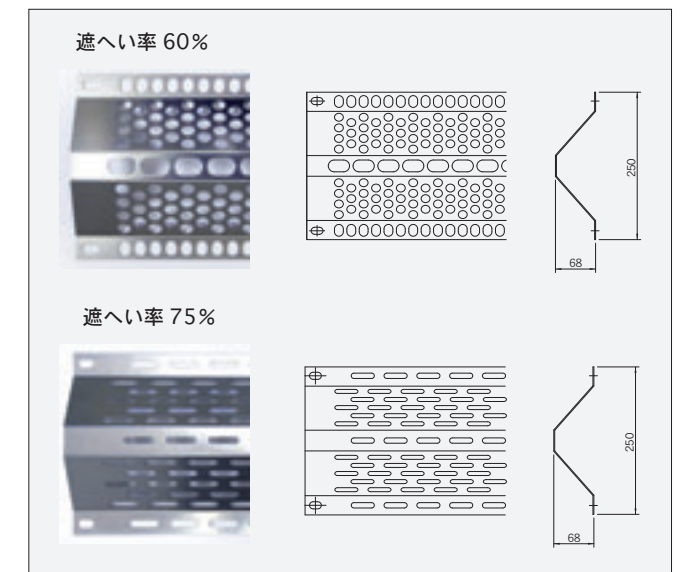
遮へい率60%(溶融亜鉛めっき製品)



遮へい率60%(高耐食性めっき製品)



※各規格の寸法の詳細については別刷標準図集を参照ください。



▼規格・寸法・参考基礎

(単位mm)

呼称	高さ(H)	主柱		参考基礎寸法	
		規格	埋込(A)	遮へい率	幅×奥行×深さ
HP-2型	2035	H100×100×6×8	450	60%	700×700×900
				75%	750×750×1000
HP-3型	3135	H100×100×6×8	500	60%	900×900×1100
				75%	1000×1000×1200
HP-4型	4015	H125×125×6.5×9	700	60%	1000×1000×1400
				75%	1100×1100×1400

※風圧力(設計風速 40m/sec)のみでの設計寸法です。

※地耐力 98kN/m² [10 t/m²] (長期) の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

仕様・特長



防風防雪柵

朝日防風防雪柵は、エキスパンドメタルの持つ機能（風流の調整）を生かし、設置場所（地形）に応じた効果的な防風・防雪機能を発揮します。

特殊形状エキスパンドメタル

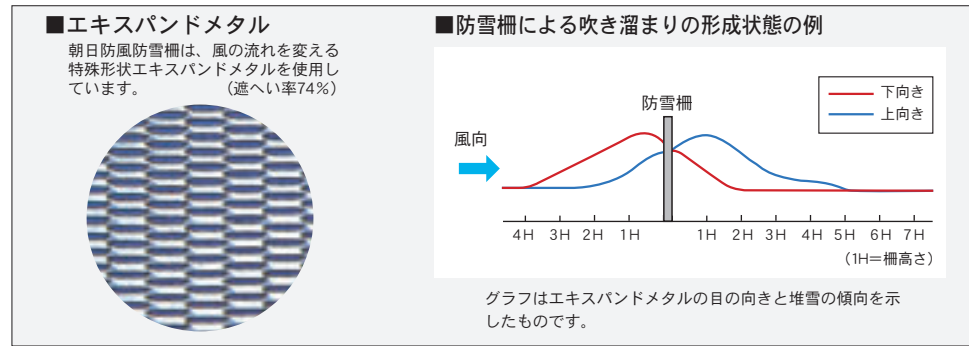
エキスパンドメタルの遮へい率の選定および風流を上向き、下向きにすることによって必要な防風機能を目的に応じて得られます。目合の小さいエキスパンドメタルを使用していますので、防砂用としても効果があります。

耐久性・耐候性

強度、耐久性については、風洞実験結果を生かした強度計算のうえに実績に基づいた十分な考慮を払っております。鋼材・パネル・ボルト・ナット類にいたるまで、溶融亜鉛めっきを施してありますので、耐候性がすぐれています。

組立が簡単

機能的設計で部品等を少なくし、簡単でスピーディーな施工ができます。

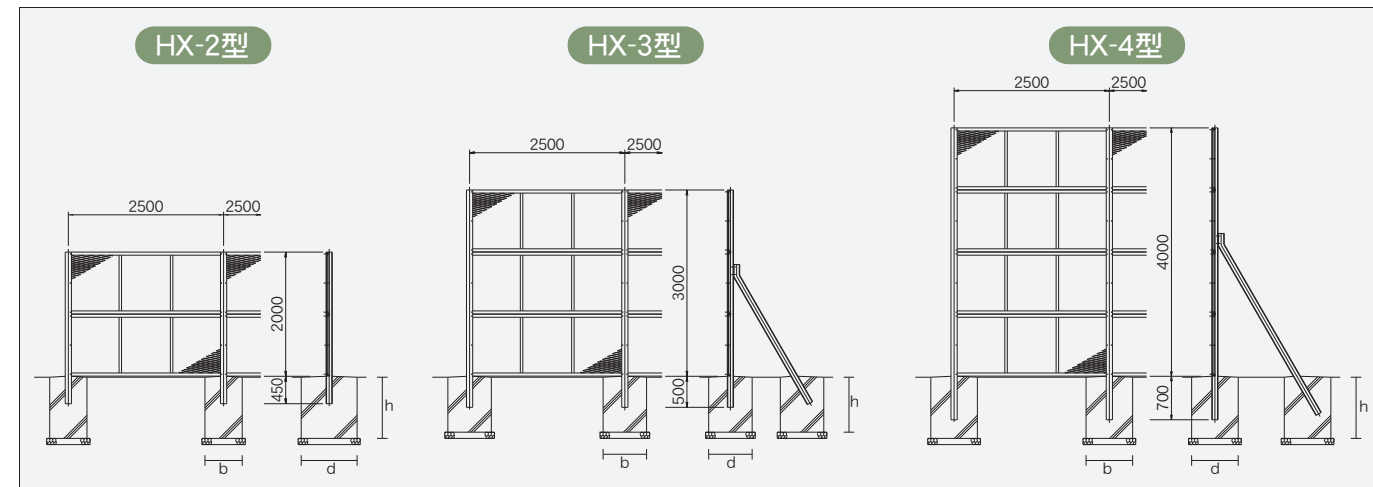


H形柱 標準仕様 主柱間隔 2.5m



▼規格・寸法・参考基礎

呼称	高さ(H)	H形鋼		パネル寸法 W×L	張立材料 エキスパンドメタル	遮へい率	参考基礎寸法主柱側 (b×d×h)
		主柱	控柱				
HX-2型	2000	H100×100×6×8		997×2476	XP10 ^{SW} ×52 ^{LW} ×1.6 ^t ×4.2 ^W	74%	600×900×1000
HX-3型	3000	H100×100×6×8	H100×100×6×8	997×2476			700×700×900
HX-4型	4000	H100×100×6×8	H100×100×6×8	997×2476			700×700×900
							750×750×1000

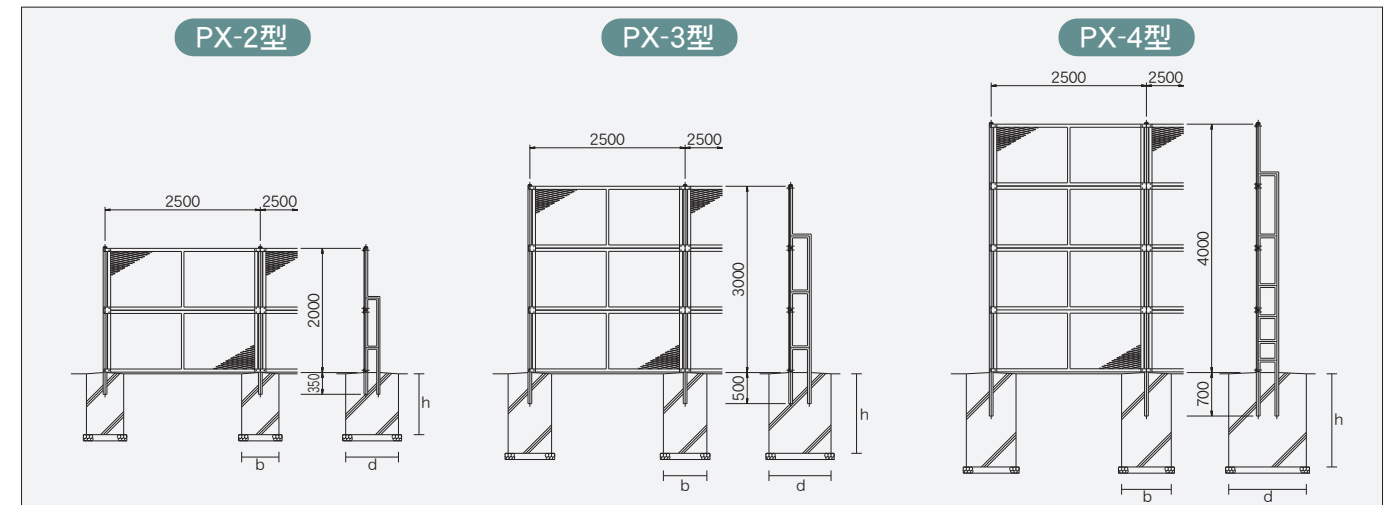


丸パイプ柱 標準仕様 主柱間隔 2.5m



▼規格・寸法・参考基礎

呼称	高さ(H)	丸パイプ		パネル寸法 W×L	張立材料 エキスパンドメタル	遮へい率	参考基礎寸法主柱側 (b×d×h)
		主柱	控柱				
PX-2型	2000	φ60.5×2.3	φ50.8×2.3	995×2420	XP10 ^{SW} ×52 ^{LW} ×1.6 ^t ×4.2 ^W	74%	600×850×1000
PX-3型	3000	φ60.5×2.3	φ60.5×2.3	995×2420			700×1000×1300
PX-4型	4000	φ60.5×2.3	φ60.5×2.3	995×2420			800×1250×1500

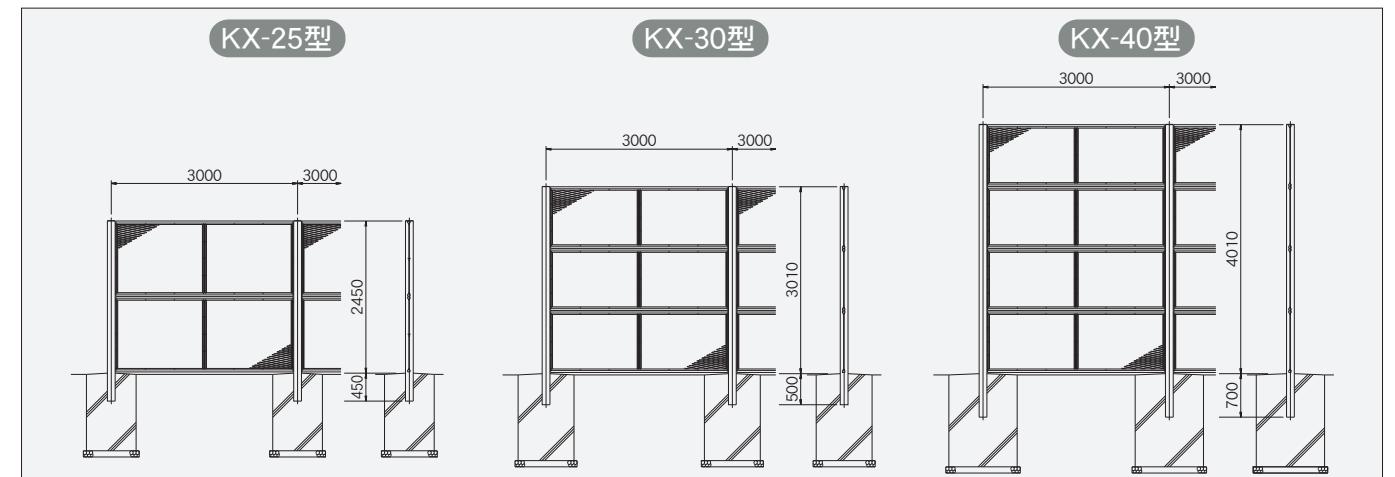


角パイプ柱 標準仕様 主柱間隔 3.0m



▼規格・寸法・参考基礎

呼称	高さ(H)	角パイプ		パネル寸法 W×L	張立材料 エキスパンドメタル	遮へい率	参考基礎寸法
		主柱	控柱				
KX-25型	2450	□125×125×3.2		1210×2863	XP10 ^{SW} ×52 ^{LW} ×1.6 ^t ×4.2 ^W	74%	□800×1250
KX-30型	3010	□125×125×3.2		990×2863			□900×1400
KX-40型	4010	□125×125×6.0		990×2863			□1100×1500



※各規格の寸法の詳細については別刷標準図集を参照ください。
 ※風圧力（設計風速 40m/sec）のみでの設計寸法です。
 ※地耐力98kN/m²[10t/m²]（長期）の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

⚠ 注意

- 当該製品は、強度について配慮の上、設計・製造しておりますが、防風防雪柵以外での使用は思わぬ事故につながる可能性があります。
- 設計風速を超える場所では使用しないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 当該製品に看板等、空気抵抗が生じるものを取り付けしないでください。(必要に応じた強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますのでご注意ください。設置場所環境(公害・塩害・水害等)を調査の上、仕様を決定してください。
- 亜鉛めっき製品は、屋外に積み重ねたままの保管やシート掛けしたままの保管をすると、雨水との長時間の接触や多湿による結露などにより白さびが発生し、製品外観の低下につながる可能性があります。ただし、白さびは防食の性能には悪影響を及ぼさないため、補修などは不要です。(JIS H8641 参照)
- 腐食性ガス・海水・砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。
- グラウンド等、土の転圧時に塩水または塩化カルシウム(通称塩カル)を散布する場合があります。この時めっきに付着すると、短時間でめっき表面が腐食され寿命が短くなります。
- フェンス柱地際部の処理はモルタル充てんを十分にし、基礎天端に水切り勾配を必ず付けてください。また基礎天端が土中に埋まる場合にはコンクリートで保護し水切り勾配を付けるか、弊社指定の保護テープを巻いて土との接触がないようにしてください。地際に水が溜まったり、柱が土と直接触れた状態では、めっきや塗装が早期に侵されます。(基礎天端が土中に埋まる場合には強度検討を致しますので、弊社までご相談ください。)
- 弊社製品に関するご不明点の確認・ご相談等に関しましては、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきます。何なりとお問い合わせください。

[製造品目]

U ^ニ フェンス	A ^ル R フェンス	F M フェンス	ピケットフェンス
エバニューフェンス	目かくしフェンス	遮音フェンス	P C フェンス
バックネット	防球窓枠フェンス	S・P防球フェンス	ガードパイプ
ガードフェンス	格子フェンス	カーストップ	メッシュトレリス
U ^ニ トレリス	チェーンフェンス	ガーデンフェンス	ゴミ・ステーション
手すり	積雪地用フェンス	ストーンガード	防風防雪柵
高らんパイプ	歩鋼板	門扉・引戸	鉄網設計製品

WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社

お問い合わせ、ご相談は下記までお願いいたします。

本	社	☎(087)833-5151(代)	〒760-8529 高松市花園町1丁目2番29号
四国	営業部直通	(第1課) ☎(087)835-8730 FAX(087)835-8720	
		(第2課) ☎(087)835-8700 FAX(087)835-8720	
中国	営業部直通	(第1課) ☎(087)835-8820 FAX(087)835-8835	
		(第2課) ☎(087)835-8850 FAX(087)835-8835	
東	京	支社	
		(第1営業部) ☎(03)3239-4815 FAX(03)3239-4720	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6(あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル)
		(第2営業部) ☎(03)3239-4818 FAX(03)3239-4720	
		(第3営業部) ☎(03)3239-4840 FAX(03)3239-4460	
大	阪	支店	
		(第1営業部) ☎(06)6244-1910 FAX(06)6244-1911	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-5-12(御堂筋本町アーバンビル)
		(第2営業部) ☎(06)6244-1920 FAX(06)6244-1921	
		(第3営業部) ☎(06)6244-1950 FAX(06)6244-1951	
九	州	支店	
		(第1営業部) ☎(092)471-7621 FAX(092)471-7623	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-1(日本生命博多南ビル)
		(第2営業部) ☎(092)471-7622 FAX(092)471-7624	
名	古	屋	営業所
			☎(052)932-3500 FAX(052)932-3510
仙	台	営業所	
			☎(022)263-1790 FAX(022)263-1791
工	場	多度津・西港・丸亀・高南・香東・坂出	

<注記>製品の品質向上のため、予告なく製品仕様を一部変更する事があります。